

# 平成24年度 長崎伝習所中間報告会 次第

日時 平成24年10月15日(月)午後6時30分～9時00分  
場所 メルカつきまち5階 ホール(築町3-18)

1. 開会
2. 総長あいさつ
3. 運営委員の紹介
4. 各塾からの報告と運営委員からの質疑

<各塾長からの報告(10分)、その後①～③は運営委員による質疑応答(5分)>

- ① 長崎の町ねこ調査隊塾
- ② 孫文・梅屋庄吉と明治大正長崎事情塾
- ③ ながさきで物語をつくろう塾
- ④ 東京出島塾
- ⑤ 在京長崎・感・考・塾
- ⑥ 長崎ビューポイント探訪塾
- ⑦ ナガサキポルトガルシルシル塾

5. 運営委員会座長講評
6. 交流タイム
7. 閉会

# 平成 24 年度 長崎伝習所 塾 フェースシート

## 1. 基本情報

塾 名	長崎の町ねこ調査隊塾（2年目）
塾 長 名	中島 由美子
副 塾 長 名	中村 淳
事務局員名	平野 仁美（所属 動物管理センター）
連 絡 先	TEL：090-1874-7081 e-mail： <a href="mailto:tac510101@384.jp">tac510101@384.jp</a>
活動開始年月	平成23年5月
塾 生 数	男性 11人 女性 19人 合計 30人

## 2. 活動実績など

塾 の 目 的	<p>「町ねこ」とは、まちなかで見かけるねこのことです。いわゆるノラネコのほか、家の中と外を行き来する飼いねこも含まれます。車の入らない狭い路地、急な坂道や階段など、長崎に点在する独特のまちなみの中を、町ねこたちは自由に歩き回ります。長崎には、ねこを愛し、可愛がる人々も多い反面、住宅の密集化により、糞尿や鳴き声、庭荒らしなど、ねこに関する苦情も多く見られます。また、捨てねこなどによる殺処分数は全国的に見ても多いのが実情です。「長崎の町ねこ調査隊塾」では、人間にとって身近な動物である町ねこを平和に共存する方法を探るため、町ねこの実態を観察・記録し、データとして蓄積して生かしていくことを目的に活動を行なっています。</p>
塾 の 活 動 日	月に2回程度の定例会を開催
これまでの活動	<p>1. 町ねこ調査6回 調査地域：（長崎市）寺町周辺、新大工町周辺、小菅町、浜口町周辺 片淵～新大工町～桜馬場周辺：約40匹 小菅町：25～30匹 浜口町：約30匹 をそれぞれ確認。しかし、実際にはこの数倍のねこが生息していると推定。</p> <p>2. 西坂公園の町ねこ調査報告（塾生 大庭三慶）2012年6月23日（土）</p> <p>3. ワークショップ「町ねこ探し隊！」 日程：2012年7月15日（日）16：00～19：00 場所：長崎県美術館ホール、長崎市十人町、館内町、中新町周辺 参加者：塾生15人・県美術館アートボランティア、職員18人 長崎県美術館アートボランティアグループとの共同企画。 中村副塾長によるねこの探し方、写真の撮り方についてのレクチャーの後、グループに分かれて上記エリアにてねこの写真撮影。 その後、美術館にて報告会。</p> <p>4. 「子どものための町ねこ調査」 日程：2012年7月28日（土）15：00～17：00</p>

	<p>場所：長崎大学文教キャンパス  参加者：塾生 11 人・一般参加 21 人  中村副塾長による、ねこについての概要、ねこの探し方、特徴のつかみ方についてのレクチャーの後、グループに分かれ、キャンパス内の地図にそって、塾生の先導のもと、ねこを観察する。</p> <p>5. 「岩合光昭写真展ねこ」関連企画『長崎の「町ねこ」写真展』  日程：2012 年 8 月 14 日（火）～9 月 2 日（日）  場所：長崎県美術館県民ギャラリー入り口  塾生が長崎市内で撮影した「町ねこ」の写真 50 点(A4 サイズ)を 7 枚のパネルに展示。塾の紹介ポスターも合わせて展示。  「岩合光昭写真展ねこ」の入場者数は 25,000 人を超え、来場者の多くが同展を観覧。身近な長崎の「町ねこ」に関心を寄せる声が聞かれた。</p> <p>6. 長崎市動物愛護フェスタ  日程：2012 年 9 月 22 日(土・祝)11：00～16：00  場所：NBC メディアスリー  企画：町ねこカルテを描いてみよう  町ねこクイズ  カリカリのグレード当てクイズ</p> <p>塾活動の一つとして、行政や他の愛護ボランティア団体との連携を目的に、企画の段階から運営までフェスタに参加。長崎の町ねこ調査隊塾の企画ブースには 100 人ほど(推定・延べ人数)の参加者があり、盛況。</p>
<p>これからの活動予定</p>	<p>1. 町ねこ調査の継続  2. 調査エリアの自治会と連携しながら、地域のねこ問題の解決に協力。  3. 「ながさき町ねこの歌写真展」  会期：2012 年 10 月 17 日(水)～12 月 2 日(日)  場所：カフェ豆ちゃん(長崎市東古川町 1-5)  塾生の詠んだ短歌と塾生が撮影した長崎の「町ねこ」の写真を展示。  4. 調査の結果と活動の成果をパンフレットにまとめる。</p>
<p>成果物の予定</p>	<p>『ながさき町ねこハンドブック』第 2 号を発行の予定。</p>

# 平成 24 年度 長崎伝習所 塾 フェースシート

## 1. 基本情報

塾 名	孫文・梅屋庄吉と明治大正長崎事情塾（2年目）
塾 長 名	村崎 春樹
副 塾 長 名	吉野 誠次
事務局員名	諸江 美智子（所属 観光政策課）
連 絡 先	長崎市上戸町1-9-6
活動開始年月	平成23年5月
塾 生 数	男性 22人      女性 16人      合計 38人

## 2. 活動実績など

塾 の 目 的	<p>1. 明治大正当時の長崎は、西日本有数の国際都市であり、多くの内外の有名人が長崎を訪れ活躍をした。その中に、「辛亥革命」の指導者孫文がいた。孫文を始め、それを巡る人々や明治中期から大正前期にかけて長崎で活躍した人物、その寓居、活躍した具体的事実、訪問先などを調査すると共に、現場を検証し、その成果を広く周知する事により、長崎観光の目玉の一つである「長崎さるく」の充実と更なる拡大に寄与し、長崎市民を始めとして、長崎を訪れる内外の人々にも、長崎歴史文化への興味を持ってもらい、その種人口の拡大に寄与することを目的とする。</p> <p>2. 当面、孫文および同人に関わりのある人々や孫文滞在中に長崎で活躍、また来崎した人物に焦点を当て、順次範囲を広げて、市民の視点で同時代の長崎の歴史と文化を解明し、大河ドラマ「龍馬伝」以降の長崎活性化の一助としたい。</p>
塾 の 活 動 日	毎月第二金曜日及び第四金曜日に定例会を開催する
これまでの活動	<p>1. 塾定例会 開催回数 10回</p> <p>2. 研修旅行 1回                      参加塾生 38名</p> <p>3. 塾内講演会 2回                      講師 原田博二氏、宮川雅一氏</p> <p>明治大正期の長崎の都市造り、中島川の変流工事についてと同時期に長崎で活躍した人物たちについて講演いただいた。</p> <p>4. 塾生がテーマを決めて、明治大正時代に、長崎で活躍した人物の調査を開始、居宅跡、墓地などを実地に調査を開始しています。</p>
これからの活動予定	<p>1. 今後も、月2回の定例会を開催して、情報交換、相互支援などを行い各テーマごとの調査結果をまとめていく。</p> <p>2. 調査内容について、各方面への周知を図るため小冊子の発行を行い、配布などを行う。</p> <p>3. 伝習所まつりなどのイベントを通じて、調査結果を市民へ周知をはかっていく。</p>
成果物の予定	調査結果を小冊子にまとめて発行する。

# 平成 24 年度 長崎伝習所 塾 フェースシート

## 1. 基本情報

塾 名	ながさきで物語をつくろう塾（1年目）
塾 長 名	田中 裕美
副 塾 長 名	小武家 雄康（こぶけ かつやす）
事務局員名	廣田 由貴（所属 文化振興課）
連 絡 先	095-861-0004
活動開始年月	平成24年5月
塾 生 数	男性 7人 女性 7人 合計 14人

## 2. 活動実績など

塾 の 目 的	歴史と伝統の街であり、多種多様な物語を内包する長崎を舞台に多くの価値観と世界観を持っている市民たちと、長崎の過去と現在と未来を一望に捉える物語という視点から、オリジナルティ溢れる斬新な物語を誕生させる。大人や子どもたちに読んでもらいたいと思っている。
塾 の 活 動 日	毎月第1月曜日
これまでの活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・九州大学大学院の目黒教授を講師として、物語についての講話。</li><li>・各自、漢字1字を使っての自己紹介。</li><li>・長崎の和洋中の町並みを山口広助氏に案内してもらいながら、物語のイメージの素材探しの町歩きを行った。</li><li>・毎月グループで、長崎を素材にして、物語をつくる。グループは遊び、建物などテーマごとに分かれている。</li><li>・目黒教授の講演会実施に向けての企画および運営。</li></ul>
これからの活動予定	<ul style="list-style-type: none"><li>・物語塾主催で、目黒教授による物語をテーマとした講演会を一般市民向けに行う。</li></ul> タイトル「時空を超えて東北を旅する一賢治の言葉を出立として」 場所 長崎市立図書館メモリアルホール 日時 11月17日（土）15時から18時
成果物の予定	<ul style="list-style-type: none"><li>・一冊の本にまとめる。</li><li>・それを市内の学校や公共施設などに配布して市民に読んでもらう。</li></ul>

# 平成 24 年度 長崎伝習所 塾 フェースシート

## 1. 基本情報

塾 名	東京出島塾（1年目）
塾 長 名	大瀬良 亮
副 塾 長 名	
事務局員名	植田 美佐子（所属 東京事務所）
連 絡 先	03-3591-7600
活動開始年月	平成24年6月
塾 生 数	男性 18人 女性 11人 合計 29人

## 2. 活動実績など

塾 の 目 的	「東京から長崎に気づきを。」 故郷長崎を出たからこそ気づく長崎の魅力を再発見し、「何か故郷のために活動したい」という想いをカタチにすべく、東京だからこそ呼べる有名講師陣による講演を通して、愛すべき故郷がよりよいまちになるためのヒントをあぶり出し、塾で考えたアイデアを長崎へ提案することを目的とする。
塾 の 活 動 日	不定期（月1回）
これまでの活動	・ 6月（第1回目） 自己紹介、塾生役割分担決定、今後の進め方について協議 ・ 7月（第2回目） ゲストスピーカーは夜景評論家である丸々もとお氏。「滞在型観光促進のための「長崎ノ夜景」と題した講演を開催。 講演後、東京出島塾で出来る「長崎ノ夜景」の魅力再開発とは何か、「市民から愛される夜の稲佐山」をテーマに据えグループワークを行った。 ・ 9月（第3回） ゲストスピーカーははまんまち商店街を経営目線で改革している木下齊氏。講演後、「海外観光客が“浜んまち”でお金を落とすには（ただし予算は100万以内）」についてアイデア出し100本ノックを行った。
これからの活動予定	これまで同様、講師陣をお招きし、刺激ある講演を行ってもらう。その講演を通じて、東京にいるからこそ気づいた長崎の魅力を再発掘、またその魅力をどうしたら活性化できるかのアイデア出しを行っていく。
成果物の予定	・「いま、長崎人が気づくべき50の改定案」（仮） （成果物の形の在り方（冊子？インターネット？）は今後検討）

# 平成 24 年度 長崎伝習所 塾 フェースシート

## 1. 基本情報

塾 名	在京長崎・感・考・塾（1年目）
塾 長 名	田尾 正行
副 塾 長 名	片山 六郎
事務局員名	黒田 正代（所属 東京事務所）
連 絡 先	080-5696-7364（塾長携帯）
活動開始年月	平成24年5月
塾 生 数	男性 14人 女性 5人 合計 19人

## 2. 活動実績など

塾 の 目 的	<p>「長崎に観光へ来てもらう」</p> <p>観光客が魅力的だと思う長崎は地元の人には当たり前過ぎて分からないことが多い。 東京に住む長崎人が観光客の目になって、今の観光地長崎に何を感じ、どう考えるかをテーマに、魅力ある観光地としての長崎の街をデザインします。</p>
塾 の 活 動 日	月末の火曜日又は土曜日
これまでの活動	<p>各回ごとに宿題を出し、塾生の個々の考えをまとめていった。</p> <p>■第一回 今の長崎に観光地として優れているもの、足りないものはなにか。他の都市と比べて、魅力的な部分と、もっとアピールが必要な部分はなにか。</p> <p>■第二回 長崎の街は、誰（どんな旅行者）に何を提供すればいいのか。長崎に来てほしい旅行者のタイプと、それにふさわしい観光施設とはなにか。</p> <p>■第三回 二泊三日の旅行プランをシュミレートする。初めて長崎を訪れる場合と、二度目に訪れる場合の二種類を考える。</p> <p>定例会では、それぞれの考えを発表し、塾生の意見を聞き、ディスカッションしながら、それぞれのアイデアを詰めていった。</p>
これからの活動予定	<p>現在の観光施設を生かしながら、これまでに出てきた新しいアイデアとの組み合わせで、観光地長崎の魅力ある姿を構築していく。</p>
成果物の予定	企画書の作成

# 平成 24 年度 長崎伝習所 塾 フェースシート

## 1. 基本情報

塾 名	長崎ビューポイント探訪塾（3年目）
塾 長 名	村田 明久
副 塾 長 名	阿比留 英輝
事務局員名	(所属 )
連 絡 先	095-844-2370 (松瀬)
活動開始年月	平成22年5月
塾 生 数	男性 6人 女性 7人 合計 13人

## 2. 活動実績など

塾 の 目 的	本塾の目的は、長崎のビューポイントの歴史や文化などに特徴のある眺望に触れ、交流できるような魅力ある情報発信を行います。
塾 の 活 動 日	6/1、7/28、7/29、9/1、9/2、9/23
これまでの活動	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 塾の運営等について協議</li><li>2. 新たなビューポイント探訪（市南部～東長崎～三和～野母崎）</li><li>3. 既知のビューポイントの座標記録</li><li>4. 食・祭りとビューポイントを組合せて活動</li></ol>
これからの活動予定	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 11月10日（土）サンセットロードのビューポイントをバス探訪（外海の夕日と火祭りの旅）</li><li>2. 琴海方面のビューポイント探訪</li><li>3. 「ビュー探いこうで」の冊子の総集編作成</li><li>4. 伝習所まつりへの参加</li></ol>
成果物の予定	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 「ビュー探いこうで」の冊子</li><li>2. 平成24年度「長崎伝習所」研究成果報告書（一部）</li></ol>



# 平成 24 年度 長崎伝習所 塾 フェースシート

## 1. 基本情報

塾 名	ナガサキポルトガルシルシル塾（3年目）
塾 長 名	山口 克己
副 塾 長 名	奥田 孝雄
事務局員名	(所属 )
連 絡 先	090-3884-7604
活動開始年月	平成22年2月
塾 生 数	男性 7人 女性 11人 合計 18人

## 2. 活動実績など

塾 の 目 的	長崎とポルトガルの事について広く学び体験し、さまざまなジャンルの交流をひろげながら、その歴史や文化を多くの人々に知ってもらい、長崎とポルトガルの親交を深め、長崎の良さを再発見してもらえるようにと目標をかかげています。
塾 の 活 動 日	原則月 2 回（日程随時）の塾会活動を予定
これまでの活動	長崎とポルトガルの歴史調査勉強会（5月～） 西海市横瀬浦 ポルトガル関連調査（7月） 講演会「ポルトガルからこんにちは」講師：Duarte 智子さん ～遙か西洋から、海を旅したお菓子のお話し～（7月） コンペイトウ王国 交流及び視察：福岡（8月） 南島原市 ポルトガル関連施設 視察調査（9月） ポルトガル コインブラ大学 歴史文化研究生 イネス・マトス氏と長崎史跡交流（9月） 講演会「ポルトガルとマカオ 文化と音楽」（10月） 講師：湯浅 隆、吉田剛士両氏（マリオネット）
これからの活動予定	人吉市ポルトガル交流会・ウンスンカルタ世界大会（10月） 「長崎とポルトガル」ナガサキピースミュージアム特別企画展 （10月30日～11月18日予定） 文化交流会「ポルトガル語にふれてみよう」（12月～予定） 「ナガサキ街町ポルトガル交流会・講演会予定」（24年2月予定） ～南島原市、大村市、西海市 のいずれかの地区を予定～ 「ナガサキ街町ポルトガル交流会・研修旅行 石見銀山・大森、温泉津」 （24年3月予定）
成果物の予定	活動の記録集（予定）